



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口 看護職からの主な相談内容や 看護管理者向け情報をサイトに掲載

公益社団法人日本看護協会（会長・福井トシ子、会員 76 万人）は、「新型コロナウイルス感染症に関する看護職の相談窓口」に寄せられた看護職からの相談について、主な内容とその回答（FAQ）を本会ウェブサイトに掲載しました。また、新型コロナウイルス感染管理下における看護管理者向けおよび、訪問看護ステーション・介護施設などで働く看護職向けの情報も併せて公開しました。

■相談内容と回答（FAQ）

本会は、4月6日に新型コロナウイルス感染症予防相談窓口を開設し、20日までに113件の相談が寄せられました。20日からは、感染予防だけでなく働き方やメンタルヘルスを含めた総合的な相談窓口とし、30日までに386件の相談がありました。386件の相談内容ごとの内訳は①感染管理 155件②働き方 135件③メンタルヘルス 35件④その他 61件です（5月1日から④その他はご意見・ご要望に変更しました）。

これまでの計 499 件の相談から、感染管理と働き方に関する主なものについてサイト上で紹介しています。

感染管理に関する主な相談内容

- ・衛生管理 ・个人防护具の利用 ・病院の感染管理 ・分娩取扱い施設
- ・精神科病院、訪問看護ステーションなどの感染管理 ・医療者の家族への対応

働き方に関する主な相談内容

- ・看護職が感染した場合等の社会保障給付等（労災保険・健康保険ほか）
- ・事業休止・一時帰休に伴う給与補償（休業手当ほか） ・復職・兼業

■看護管理者、訪問看護・介護施設従事者向け情報

看護管理者を対象とした看護提供体制の整備やマネジメントに必要な情報や、訪問看護事業所・介護施設などで働く看護職に対する情報も掲載しました。

看護管理者向けの情報提供

上記の相談内容を踏まえ、新型コロナウイルス感染管理下における看護提供体制の整備やマネジメントに必要な情報を「看護管理者の皆様へー新型コロナウイルス感染症への対応ー」としてまとめました。

訪問看護ステーション等で働く看護職向けの情報提供

訪問看護ステーションや介護施設等で働く看護職を対象に、感染予防や診療・介護報酬などに関する情報を紹介しています。

News Release

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2020年5月7日

新型コロナウイルス感染症に関する全ての情報は、下記の「新型コロナウイルス感染症関連情報」ページからご覧いただけます。報道関係の皆さまにおかれましては、さまざまな機会にご紹介いただきますよう、お願い申し上げます。

■日本看護協会:新型コロナウイルス感染症関連情報

https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/

※右の2次元コードからもアクセスできます。

